

# 子どもにツケをまわさない

## 地域が主役 熊谷から元気を発信します！

自民党

www.jimin.jp

埼玉県  
議会議員

てつやNEWSレポート2017.Vol.29

てつやの実績

## オール埼玉で応援！

SAITAMA PRIDE

～スポーツ王国の底力を発揮し、埼玉を新たなステージへ～



2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会副会長として



去る7月24日、さいたま新都心けやき広場にて3年前記念イベント（埼玉県推進委員会・埼玉県主催）が開かれました。SAITAMA PRIDE スペシャルアンバサダーの鈴木啓太氏（元サッカー日本代表、元浦和レッズ選手）、男子体操の加藤凌平氏らが参加。県民の皆様には、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

埼玉県では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで、オリンピック4競技、パラリンピック1競技が開催されることから、オール埼玉体制で大会の成功に向けた取組を行っています。

世界中から多くの観客の来県が見込まれます。これを埼玉県を発信するチャンスととらえ、大会の成果を一過性のものとすることなく、レガシーとして将来に引き継いでゆくことが重要だと考えます。

2019年には熊谷市も会場の一つとなっている「ラグビーワールドカップ2019」も開催されます。両大会の成功に向けて取り組んで参ります。

# 小林 てつや



### てつやProfile

- \* 平成15年、19年、23年、27年 埼玉県議会議員当選4回
- \* 第120代埼玉県議会議員

#### 【現在の役職】

- \* 自由民主党熊谷支部支部長
- \* 埼玉県議会ラグビー振興議員連盟会長
- \* 2020オリンピック・パラリンピック/ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会副会長
- \* 埼玉県ラグビーフットボール協会副会長
- \* 熊谷市バドミントン協会会長
- \* 熊谷市ソフトボール協会会長
- \* 熊谷市スキー連盟会長
- \* 保護司
- \* 桜ファンクラブ副会長

#### 【これまでの経歴】

- \* 平成19年県土都市整備委員長
- \* 平成20年文教委員長
- \* 平成21年企画財政委員長
- \* 平成22年環境農林委員長
- \* 平成23年地方分権行財政改革特別委員会委員長
- \* 平成24年次世代人財育成・文化・スポーツ振興特別委員会委員長
- \* 平成25年埼玉県議会運営委員長
- \* 緊急経済対策特別委員会委員長
- \* 平成26年危機管理大規模災害対策特別委員長
- \* 平成27年埼玉県監査委員
- \* ラグビースクール第1期生

## 埼玉県議会 議長の動向 アセアン要人の方々との交流



①ラオス駐日大使



②ベトナム フック首相



③インドネシア大使との昼食会

①ラオス人民民主共和国 ヴロード・スンダーラー駐日大使が来県しました。

②ベトナム社会主義共和国のゲン・スアン・フック首相、ハノイ市人民委員会ゲン ドック委員長をお招きしてイオンレイクタウン店（越谷市）でイオン ワールド フェスタ ヴェトナム・ハノイフェア」が開催されました。

歓迎式典には上田清司知事、イオンモール岡田元也社長、てつやが出席しました。経済成長著しいベトナムの食や文化とともに両国のパートナーシップを強調しました。

③インドネシア特命全権大使のアリフィン・タスリフ氏と昼食会を行いました。

他に、ユネスコ総会議長スタンレー・ムツンバ・シマター氏との交流を図りました。



議長執務室にて

### 夏休み子ども参加イベント「議事堂見学会」

小学生親子皆さんが埼玉県議会議事堂の本会議場、委員会室、議会運営委員会室、議長室を見学しました。子どもたちの真剣な眼差しに日頃とは違う緊張を覚えました。女子児童の参加が多いことにビックリ。将来埼玉県をリードする県議会議員がこの中から誕生することを願っています。





小林てつやは地域社会のために頑張る皆さんを応援しています

# 全国初 埼玉県虐待禁止条例

## 自民党県議団が提案議決 高齢者や障害者も対象



「県虐待禁止条例」は自民党県議団が立案し議会に提案。7月に全国初の児童や高齢者、障害者への虐待も含めた条例が全会一致で制定されました。虐待は児童等の人権を著しく侵害するものであって、いかなる理由があっても禁止されるものです。

自民党県議団は、昨年5月に会派内にプロジェクトチームを立ち上げ、1年間に亘り関係各団体との意見交換や視察を重ね、条例のあり方を検討してきました。これまでに児童虐待防止の条例は愛知や大阪など6府県ありますが、高齢者や障害者を含めた条例は全国初となります。この分野での条例に自民党県議団が先鞭をつけました。



熊谷児童相談所

### 管轄区域



熊谷児童相談所の管轄は7市8町。人口約87万人。18歳未満の児童数は約13万人。

### 虐待対応の県と市町村の役割

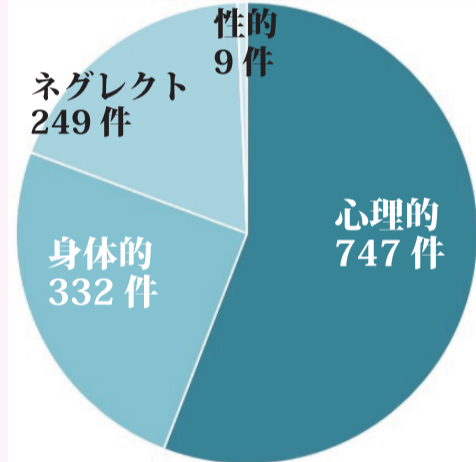


### 虐待急増に対応する体制に

平成12年5月、児童虐待の防止等に関する法律「児童虐待防止法」が施行されて以降、虐待に関する相談が急増しました。法律が施行される前年の平成11年と平成28年を比べると約22倍の相談受付（グラフ左）になり、急激な伸びに対する体制の構築が急務になっています。

熊谷児童相談所（新井由基夫所長）は、児童福祉司、児童心理司など専門職を含め43人の職員で対応しています。

### 虐待相談の内容（H28年度全1337件）



### 子育ての悩みを独りで抱え込まないで… 通報から48時間以内に子どもの安全を確認

相談の半数以上を占めるのが心理的虐待です。大声や脅しなどで恐怖に陥れたり、無視や拒否的な態度をとったり、子どもの心を傷つける夫婦喧嘩も虐待の一つと言われています。虐待のリスクとして、ひとり親、ステップファミリー、就労が不安定、経済的困窮、転居を繰り返す、などがあげられています。

また、深刻な虐待と言われる身体的、ネグレクト、性的虐待は熊谷児相管内で1日に2件近く発生している計算になります。深刻な虐待に的確かつ専門的に対応することが必要です。



オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。

全国共通ダイヤル  
虐待かなと思ったら

**☎189**  
イチハヤク

## サロンでてつや

Salon de tetsuya

## 理想を希望のまま終わらせないために！

そのために様々な活動を行う日々。「てつや」の「記録」をじっくりとご覧ください



「埼玉発世界行き」奨学生同窓会にて若いチャレンジャーと交流  
2020東京オリンピックパラリンピックフラッグツアーにて五輪旗を受ける  
オリパラスパシャルアンバサダー 鈴木啓太氏（元サッカー日本代表）  
ラオス ヴィロード・スングラー駐日大使を迎えて  
第52回熊谷染作品競技会 議長賞の山田洋子氏と一緒に  
第99回高等学校野球選手権全国大会優勝校 花咲徳栄高等学校 議長表敬訪問  
甲子園球場決勝戦で 花咲徳栄高校を応援  
第3回世界コンバットレスリング選手権大会 本庄大会 実行委員会結成式にて  
めぬま祭に参加 野中あつし代議士と  
埼玉県女性消防隊の操法大会に出席 熊谷市女性消防隊が優勝